

牧之原市長 杉本 基久雄 様

牧之原市監査委員 飯塚 貴穂  
同 上 中野 康子



### 財政援助団体等監査結果報告書

地方自治法第199条第7項の規定に基づく監査を実施したので、その結果を同条第9項の規定により次のとおり報告します。

#### 記

##### 1 監査の対象団体及び所管課

補 助 ・ 委 託 団 体	所 管 課
社会福祉法人 牧之原市社会福祉協議会	福 祉 こ ど も 部 社 会 福 祉 課

##### 2 監査の期日

令和元年6月25日（火）から令和元年9月10日（火）まで

##### 3 監査出席者

監 査 委 員	代表監査委員 飯塚貴穂、監査委員 中野康子
監査委員事務局	水野事務局長、大石書記
社会福祉協議会	水野会長、大石事務局長、加藤地域福祉課長兼地域支援係長 尾崎係長、小林主任、鈴木主事
福祉こども部	大石部長
社会福祉課	横山課長、福代総括主幹、良知主幹

##### 4 監査の範囲

平成30年度の財政援助に係る出納、その他事務の執行状況

##### 5 監査の方法

監査の実施に当たっては、あらかじめ指定した財政援助団体から提出を求めた監査資料に基づき事前監査をすると共に、当日は団体と補助金関係担当課からの内容を聴取した。さらに次の点に主眼をおいて監査を実施した。

- (1) 事業計画書、予算書及び決算諸表等と所管課へ提出した補助金等の交付申請書、実績報告書等は符合するか。
- (2) 補助金等交付申請書の提出及び補助金等の請求、受領は適時に行われているか。
- (3) 事業は、計画並びに交付条件に従って実施され、十分効果が上げられているか。  
また、補助金等が補助対象事業以外に流用されていないか。
- (4) 出納関係帳簿の整備、記帳は適正か。また、領収書等の証拠書類の整備、保存は適切か。
- (5) 補助金等に係る収支の会計経理は適切か。
- (6) 会計処理上の責任体制と内部統制組織は確立されているか。
- (7) 会の規約に沿った運営がなされているか。

## 6 監査の結果

監査の対象とした牧之原市社会福祉協議会への補助金に係る事務事業は、適正に執行されていると認めた。

## 7 監査の意見

### 【牧之原市社会福祉協議会】

- (1) 牧之原市社会福祉協議会運営事業補助金に係る提出書類について、一部不備が見られた。交付要綱の定めに基づき、正確な事務処理を心掛けられたい。
- (2) 福祉関係団体への補助金の交付事務手続きについては、実績報告書及び収支決算書等の書類は適正に整備されていたが、事業内容の把握がされていなかった。補助金を支出する上で、事業内容の確認が必要だと考える。
- (3) 予算額の多くを占めている項目は人件費であった。今後、働き方改革の一環で、同一労働同一賃金が求められていることから、適正な人員と職員配置を検討されたい。
- (4) デイサービス陽だまりが開設され利用者が増加した。また、今年度から心配ごと相談に職員が同席することで、その後のスムーズな福祉相談援助対応に役立っている。今後も市民のニーズを適切に捉え、社会福祉協議会の存在意義・役割はどうあるべきかを踏まえて事業実施を図られたい。

### 【社会福祉課】

- (1) 牧之原市福祉関係団体活動費補助金交付要綱第2条において、補助対象となる「福祉活動を実施する福祉関係団体」を定義しているが、現在支給されていない福祉団体が含まれていた。現状を踏まえ、必要がある場合には要綱の見直しをするよう検討されたい。

- (2) 日常介護用具総合貸与事業について、対象用具の認定を需要に応じ再検討するなどして、利用者が幅広く活用できる事業とされたい。
- (3) 所管課は財政援助団体の経営状態を継続的に注視する必要がある、補助金については適正な交付と補助目的・対象に沿った活用状況の管理監督に努め、適度な緊張感を保ち安定した事業運営に向けた指導をされたい。

## 8 監査結果の概要

### (1) 役員及び職員数

役員（2年任期）会長1人、副会長1人、理事5人、監事2人  
 評議員（4年任期）13人  
 事務局 事務局長1人、職員（育休・嘱託・出向含む）53人  
 臨時職員87人

### (2) 補助金の交付及び受入について

ア 平成30年度牧之原市社会福祉協議会運営費補助金は、3回に分け、総額54,974,000円が、一般会計3款（民生費）1項（社会福祉費）1目（社会福祉総務費）19節（負担金補助及び交付金）から交付されている。この補助金は、人件費、施設利用費をはじめ、ボランティア活動費、心配ごと・法律相談などのきめ細やかな事業展開により地域福祉の向上を図るために活用されている。

### 牧之原市社会福祉協議会運営費補助金明細

単位：円

項目	金額	備考		
		勘定科目	金額	説明
社会福祉協議会 運営費	51,658,000	人件費	45,000,000	一般職員17人分 パート職員7人 産育休2人
		事業車輛費	586,000	マイクロバス車検代等
		福利厚生費	347,032	職員健康診断料等
		消耗品費	550,421	プリンタトナー等
		印刷製本費	511,111	コピー料金等
		通信運搬費	980,707	電話使用料等
		委託費	146,880	経理システム等
		手数料	730,534	振込手数料等
		租税公課	107,383	公用車税金
		保険料	501,214	公用車任意保険料等
		賃借料	679,086	コピー機等リース料
		保守料	212,571	パソコン等保守料
車輛費	1,305,061	公用車車検、点検代等		
ボランティア活動 助成費	941,000	消耗器具備品費	102,157	事務用品、災害用備品等
		被服費	84,504	災害ベスト

項 目	金 額	備 考		
		通信運搬費	32,275	切手等
		広 報 費	164,770	ボランティア情報紙
		印刷製本費	30,000	用紙代
		保 険 料	2,800	ボランティア保険補助
		車 輛 費	9,934	ガソリン代
		給 食 費	106,840	災害備蓄
		諸 謝 金	7,000	講師料
		旅費交通費	2,400	出張旅費
		研修研究費	87,540	松川町社協視察
		手 数 料	13,780	振込手数料
		助成金支出	297,000	ボランティア連絡会等
介護用具貸与事業	0	賃 借 料	0	
施 設 利 用 費	1,476,000	助成金支出	1,476,000	前期 132名 後期 139名
心配ごと・法律相談	899,000	諸 謝 金 会 議 費	880,000 19,000	弁護士報酬 弁護士昼食代等
合 計	54,974,000		54,974,000	

イ 平成30年度牧之原市福祉関係団体活動費補助金は、2,013,000円が、一般会計3款（民生費）1項（社会福祉費）1目（社会福祉総務費）19節（負担金補助及び交付金）から交付されている。この補助金は、牧之原市から社会福祉協議会を通して関係10団体に交付され、福祉活動の円滑な運営を図るため活用されている。

牧之原市福祉関係団体活動費補助金明細

単位：円

	福祉団体名	補助金額
1	牧之原市子ども会連絡協議会	300,000
2	牧之原市身体障害者福祉会	500,000
3	牧之原市手をつなぐ育成会	288,000
4	N P O 法 人 精 神 保 健 福 祉 み ど り 会	76,000
5	榛原地区相良更生保護女性会	55,000
6	榛原地区榛原更生保護女性会	45,000

	福祉団体名	補助金額
7	榛南断酒会	69,000
8	榛原地区保護司会相良支部	365,000
9	榛原地区保護司会榛原支部	210,000
10	法務省榛原保護区 榛原地区保護司会	105,000
	合計(10団体)	2,013,000

ウ 平成30年度牧之原市戦没者遺族等援護事業費補助金は、1,500,000円が、一般会計3款(民生費)1項(社会福祉費)1目(社会福祉総務費)19節(負担金補助及び交付金)から交付されている。この補助金は、牧之原市から社会福祉協議会を通して団体に交付され、戦没者慰霊祭をはじめ援護事業の円滑な運営を図るため活用されている。

牧之原市戦没者遺族等援護事業費補助金明細 単位：円

	福祉団体名	補助金額
1	牧之原市遺族会	1,500,000

エ 平成30年度牧之原市福祉関係団体活動費補助金(高齢者ふれあい・いきいきサロン)1,698,000円は、一般会計3款(民生費)1項(社会福祉費)3目(老人福祉費)19節(負担金補助及び交付金)から交付されている。この補助金は、牧之原市から社会福祉協議会を通して団体・利用者に交付され、各々に活用されている。

牧之原市福祉関係団体活動費補助金  
(高齢者ふれあい・いきいきサロン事業)明細 単位：円

	福祉団体名	補助金額
1	高齢者ふれあい・いきいきサロン	1,698,000

以上報告する。